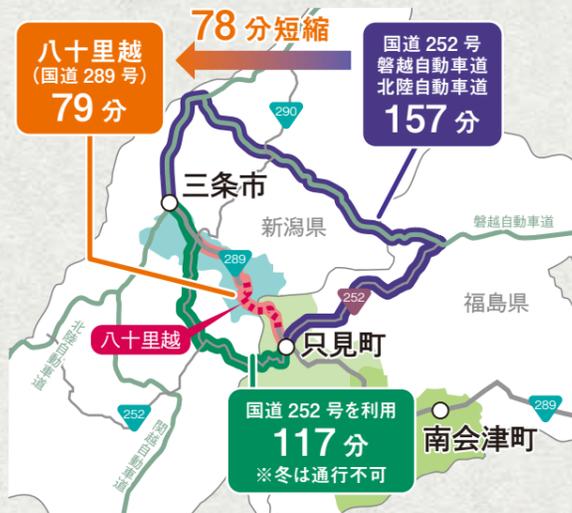


八十里越事業に期待される効果



◆通行不能区間の解消

◆地域間の交流・連携を支援

八十里越の整備により、通行不能区間が解消され三条市と只見町間の所要時間が78分(約50%)短縮され、通年において、三条市と只見町間の容易なアクセスが可能となり、交流促進が期待されます。

◆救命救急体制の向上

只見町には総合病院がなく、高度・救急医療は会津中央病院(所要94分)へ搬送されています。八十里越の整備により、新潟県の済生会新潟県中央基幹病院(三条市、所要75分)への搬送が可能となり、救命救急体制の向上が期待されています。

「国道289号八十里越道路構造物」名称募集要項

1 募集の趣旨

令和8年秋から令和9年夏と示された国道289号八十里越区間の暫定開通及び新潟県と福島県の交流促進に向けた気運を盛り上げるため、八十里越区間を象徴する構造物である4施設の名称を募集します。

2 募集対象施設

- ①2号橋梁 ②5号橋梁*
- ③8号トンネル ④9号トンネル

*応募資格:令和7年4月1日時点で29歳以下の方

3 名称の条件等

応募いただく名称については、特に規定はありませんが、次の項目を踏まえた名称であることが望ましいです。

- ①設置された地域のイメージに合うもの
- ②周辺地域の構造物の名称や商標などに類似していないもの
- ③ひらがな、カタカナ、漢字のいずれか、または組み合わせで表記されたもの

4 応募資格

どなたでも応募可能、応募回数に上限はありません。ただし、5号橋梁については、新たな未来へ繋げる思いを込めて、令和7年4月1日時点で29歳以下の方を対象とします。

5 応募期間

令和7年10月14日(火)から
令和7年11月14日(金)まで

ただし、持参又は郵送による場合の応募締切は、次のとおりとします。

<持参の場合>

令和7年11月14日(金)午後5時00分まで

<郵送の場合> 当日消印有効

6 応募方法

応募用紙が任意の様式に、応募する施設、名称とその名称に込めた思い、住所、氏名、年齢、電話番号、電子メールアドレスが記載されたものを持参、郵送、メールで国道(289号)八十里越地点開発促進期成同盟会事務局へご応募いただくか、同盟会が開設するホームページに掲載のGoogleフォームからご応募ください。

*5号橋梁の名称については、採用を決定後、本人に通知し、年齢確認を行います。年齢確認は、運転免許証、マイナンバーカード等の年齢を確認できるものの写しの提出にて行います。

7 選定方法

名称については、関係自治体、事業主体、地域の有識者等から構成される「国道289号八十里越道路改築事業における構造物の名称募集に係る名称選定委員会」の厳正な審査の上、決定します。

8 賞金について

施設ごとに、採用名称応募者の1名に10万円を授与します。

*採用名称に複数の応募があった場合は、抽選で賞金授与対象者を決定します。

9 結果発表

- ①発表は、令和8年3月を予定しています。
- ②賞金授与対象者本人に通知するとともに、ホームページ等で公表します。
- ③賞金授与対象者は、八十里越関連イベントへ招待し、表彰を行います。
*旅費は、自己負担となります。

10 その他

- ①応募にかかる費用は、応募者の負担とします。
- ②選定された名称に関する一切の権利は、道路管理者に帰属します。
- ③応募に係る個人情報は、今回の名称募集の目的以外には使用しません。
- ④お一人で複数件ご応募いただけます。必要に応じて応募用紙をコピーいただくか、任意の形式でもご提出可能です。

八十里越名称募集
応募フォーム



応募先及び問合せ先

住所:〒955-8686新潟県三条市旭町二丁目3番1号
国道(289号)八十里越地点開発促進期成同盟会事務局(三条市 建設部 建設課 建設管理係内)
電話:0256-34-5713 電子メール:kensetu@city.sanjo.niigata.jp

応募用紙

名称(フリガナ)	対象施設	名称に込めた意味や思い等		
住所(〒 -)	氏名	年齢	メールアドレス	
	電話	才		

お一人で複数件ご応募いただけます。必要に応じて応募用紙をコピーいただくか、任意の形式でもご提出可能です。

賞金

10万円
(4施設計40万円)

国道289号 (八十里越)



名称募集

「歴史の道に、新しい物語を」



主催:国道(289号)八十里越地点開発促進期成同盟会



名称募集施設について

八十里越区間を象徴する構造物である4施設の名称を募集します。
工事の詳しい概要は次の二次元コードから。



8号トンネル



外ノ沢に隣接する6号盛土と6号橋梁を結ぶ、全長186メートルの8号トンネルは、新潟県側で最後に位置するトンネルです。大久保沢に架かる6号橋梁と、県境を越えて続く9号トンネルは、厳しい冬の降雪に備えてスノーシェッドで接続されており、実質的に福島県側への入口となっています。



9号トンネル



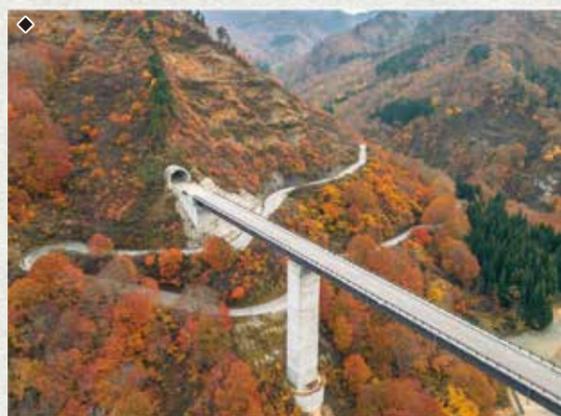
越後山脈を貫き、福島県と新潟県にまたがる全長3,168メートルの国道289号八十里越区間を代表するトンネルです。平成22年度に貫通し、その後は工事用道路としての利用に加え、「八十里越体感バス」の通り抜けルートとしても暫定的に活用されています。



2号橋梁



まごい馬追沢に架かる全長190メートルの橋梁で、2号トンネルと3号トンネルの間に位置します。4号盛土からは、橋梁越しに越後山脈の雄大な山々と2号橋梁を眺めることができます。



5号橋梁



5号橋梁は険しい山岳地形と深い谷を跨ぐために計画され、最大で80メートルを超える橋脚を備えています。日本でも有数の規模を誇る橋梁であり八十里越区間の象徴的存在として、地域の未来を支える力強い架け橋です。



八十里越とは



八十里越とは



ドローン動画



「八十里越」の由来は諸説ありますが、「壬寅随筆」や「嵐溪史」には、困難な山道なので、一里を十里にあてて八十里越と呼んだとあります。越後山脈と帝釈山脈の急峻な峰々に囲まれた南会津地域にとって、「八十里越峠」は越後に通じる重要な道路であり、文献によると、戦国時代に越後・岩代両国間の交流が確認されています。この八十里越峠を利用して、南会津地域では、食塩・魚類・鉄製品などの生活用品を越後から移入し、また、ここから繊維原料、林産物、労働力などを越後へ送り出していました。このように、中越地方と南会津地方は深い依存関係が結ばれ、明治末期まで経済的・人的交流が続いた重要な道でした。国道289号は昭和45年に国道として認定された新潟県新潟市から福島県いわき市に至る全長304キロの道路で、八十里越区間は新潟県三条市と福島県只見町を結ぶ区間です。



長野地内庚申塔
「會津八十里ミチ」
(八十里越のみちの道しるべ)